

啓明

啓明通信



学校教育目標

- 将来に希望をもち、豊かな知性を磨く生徒
- 自分に厳しく、他をおもいやる生徒
- ねばり強く、心身をたくましくきたえる生徒

校訓：「独立自往」

今年度実践目標

「日本一、笑顔あふれる学校」

～学校づくりの<主人公>として仲間と共に歩む生徒～



「It' s 笑 time !」

生徒会担当 田中 遥

9月20日(金)、第77回啓明祭が行われました。今年の啓明祭は、昨年に引き続き、全校生徒が一堂に会し、保護者の方々や地域の方々への公開、昼食バザーを実施することができました。啓明祭のテーマは、【It' s 笑 (ショウ) time ! ~今が笑うとき~】1年生の生徒が考案したものです。「年に1度の啓明祭を笑って過ごせるように」という思いが込められており、どんなことがあっても啓明祭を楽しもう！という初心にかえるような気持ちになるテーマでした。このテーマのもと実行委員会では、啓明生一人一人の笑顔があふれるような啓明祭を創ろうと準備を重ねていきました。「やりたいことをやりたい分だけ」ではなく、「限られた時間の中でできることは何か」を考えながら、よりよい企画を考えました。当日を迎えるまでの各学年の様子を見ると、大変な準備作業でありながらも、笑顔で作業に取り組む生徒の姿が印象的でした。そんな準備期間を乗り越えて、啓明祭当日は、クオリティの高いステージ発表と展示発表を見ることができました。また、鑑賞マナーも立派で、みんなで啓明祭を創ろうという雰囲気が会場に流れていました。生徒一人一人の努力のおかげで、予定していた時間に啓明祭が終了し、片付けまで時間内に終えることができました。

「今日という日が大切な思い出となり、思い出したときに笑顔になっていれば幸いです。」

これは、啓明祭当日に実行委員長が述べていた言葉の一部です。この言葉の通り、啓明祭が啓明生にとって特別な一日となっていると、啓明祭は成功したと言えるのだと思います。この先何かつらいことや壁にぶつかったときに、啓明祭のことを思い出して、「啓明祭、一生懸命取り組んだなあ。あの時のようにまたがんばろう！」と、“特別な一日”として啓明生の記憶に残り続けてほしいです。

保護者の皆様におかれましては、日頃から学校活動に御理解、御協力をいただきまして、誠にありがとうございます。今後とも、子どもたちを見守り、サポートしていただきますようお願い申し上げます。



「第77回合唱の会」に寄せて

生徒会部文化係 渡部 郁野

今年も皆様の温かいご支援をいただきまして、無事、「合唱の会」を終えることができました。10月3日(木)から10月18日(金)までの足掛け3週間、啓明中学校は校舎の隅々まで合唱漬けの日々となります。とは言っても歌うのは生徒、ステージに立つのも生徒。保護者の皆様同様、教職員の私たちはひたすら練習を見守り応援するだけなのですが、いつの間にかとても熱が入ってしまいます。

自分が中学時代に歌った曲、聴いた曲、歌いたかった曲。それらが令和の今を生きる生徒によって歌われた時、40年以上の時を超えて何とも言えない懐かしい気持ちになるのは、私だけではないと思います。昭和の古い木造校舎の匂い、熱っぽい白熱灯の照明に照らされて、学級一丸となって歌う緊張感が生々しく思い出されます。パート練習はキーボードなどというしゃれたものはなく、学級に一台きりの備え付けの足踏みオルガン。当時青森の田舎の中学校では、ピアノを弾ける男子は皆無で、私は男声パートのパートリーダーでした。やる気も歌心もない男子と毎日けんかをしながら、どうにかこうにか音を取っていた自分。そんな昭和の中学生に比べて、今の生徒たちはうらやましいくらい協力し、支え合い、何よりも楽しく合唱に取り組んでいます。「合唱の会」前日、最後の練習の後、パートリーダーがメンバー一人一人に「練習頑張っていたから、大丈夫。明日は思いっきり歌って。」などと声を掛ける姿。本番を終えて教室に戻り、指揮者が「今まで、自分の指揮についてきてくれてありがとう。」と声を震わせながら挨拶すると、それに応えてクラスが涙する姿。何か一つのことを力を出し切った生徒たちの姿は本当に美しく感動的です。

こうしてそれぞれのクラスで様々なドラマが繰り広げられた「第77回合唱の会」は幕を閉じました。皆様のご協力に感謝申し上げます、担当者からの挨拶といたします。ありがとうございました。

<第77回合唱の会 審査結果>

| | 【1年生の部】 | 【2年生の部】 | 【3年生の部】 |
|-----|---------------|------------------|-----------------------|
| 金賞 | 2組「空～ぼくらの第2章」 | 4組「リフレイン」 | 7組「夏」 |
| 銀賞 | 8組「僕らの奇跡」 | 5組「ヒカリ」 | 3組「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ」 |
| 銅賞 | 1組「輝くために」 | 1組「モルダウ」 | 6組「手紙～拝啓十五の君へ～」 |
| 特別賞 | | 10組「Smile Again」 | |



札幌市立啓明中学校 〒064-0809 札幌市中央区南9条西22丁目2番1号

【電話】(011)561-4168 【FAX】(011)551-4914 <http://www.keimei-j.sapporo-c.ed.jp/>

学校だより『啓明通信』 令和6年度 第6号 発行責任者 学校長 市川 恵幸